



くみあいだより

J A なんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

生産資材高騰に伴い



6月29日（水）、南幌町役場町長室にて林組合長より大崎町長へ、農業用生産資材高騰支援に関する要望書を提出しました。

今回の要望は、世界的な原油をはじめとした資源の高騰や世界情勢の悪化や輸出規制に伴う需給のひっ迫と円安等、過去に類を見ない価格上昇となり、農家経営の自助努力は限界を迎えており、生産者が将来にわたり安心して営農に取り組めるよう、農業用生産資材等への価格支援対策を要望しました。

当つAでは、今後も組合員の声を少しでも多く伝えられるよう努めて参ります。

高品質な出荷を行つため

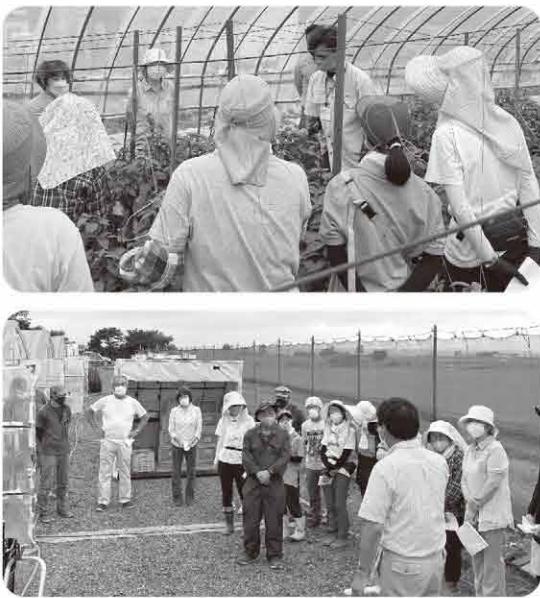


先月号では、ピーマンの出荷目慣りし会について紹介させていただきました。ピーマン目慣りし会に続き、6月28日（火）にプロツコリー、7月8日（金）にキャベツの各目慣りし会が行われました。

出荷目慣りし会では、各関係企業を招き、出荷規格や出荷要領の説明が行われました。説明後には、実際に野菜を手に取り、規格や品質を確認しました。

南幌町産の品質の高い新鮮な野菜が続々と出荷され店頭等に並び始めています。

ピーマン部会青空教室開催



7月12日（火）、当つAピーマン部会では、青空教室を開催しました。

当日は、公益財団法人園芸植物育種研究所の源田氏を講師に招きピーマン部会の部会員が参加しました。

青空教室は、ピーマン部会の部会長である水氏（晩翠西）のハウスから始まり、その後ライフ（青葉）のハウスに移動し施設を見ながら栽培技術等について学びました。

参加した部会員は、真剣な表情で話を聞き多くを学びよい勉強会となりました。

令和4年度水稻カメムシ調査開始

南幌町農業指導協議会は、7月11日(月)より、町内水稻圃場で水稻カメムシ予察調査を開始しました。調査には、各営農振興組合長、技術部会員にご協力いただいております。

本調査は、カメムシ被害防止及び高品質米生産に向けた取り組みであり、7月11日の調査結果は、カメムシの発生が0匹ではありませんでした。水田防除目安に達する発生はありませんでした。

調査は、8月中旬まで毎週行われる予定です。



公平かつ公正な受入を行うため

7月12日（火）、当JA3階大会議室で農産物検査員技能確認研修会を行いました。

本研修会は、麦・米の受入れ業務を行う農産物検査員資格を有する職員を対象に行っており、受入仕分けの再確認や鑑定技能の確認を受入開始前のこの時期に毎年行っています。

今後、小麦の受入から本格的に始まり、その後、米の受入が本格的になりターミナルが稼働する季節がやってきます。

受入を担当する当JA職員も公平で公正で迅速な鑑定に心がけ業務に取り組みます。



堆肥の引渡し終了

7月13日（水）、14日（木）の2日間、当JA堆肥盤で堆肥の引渡し作業が行われました。

堆肥は、ライスター・ミナルより排出された麦・米残渣を当JAの堆肥盤にそれぞれ集め光合成細菌を散布し約1年熟成した物になります。

堆肥の管理は、農業振興課職員が行っており、秋の光合成細菌散布から始まり春夏の除草作業等の作業を経て今回の引渡しとなります。本年の堆肥は、よい仕上がりとなっていました。

堆肥は、常会時に聞き取りを行い、引き取り希望のあった生産者への引渡しとなりました。



火災が起きた時のため

6月23日（木）、当JAで火災避難訓練が行われました。

今回は、JA2階喫煙所からの出火を想定して避難訓練が行われました。訓練当日は、職員が避難を呼びかけ、1人1人自分の担当する役割を果たしながらスムーズに行われました。

訓練後、職員2名を対象に、消火器を使用した消火器訓練が行われ実際に火災が起きた時にどの様に対処するべきか学ぶことが出来ました。

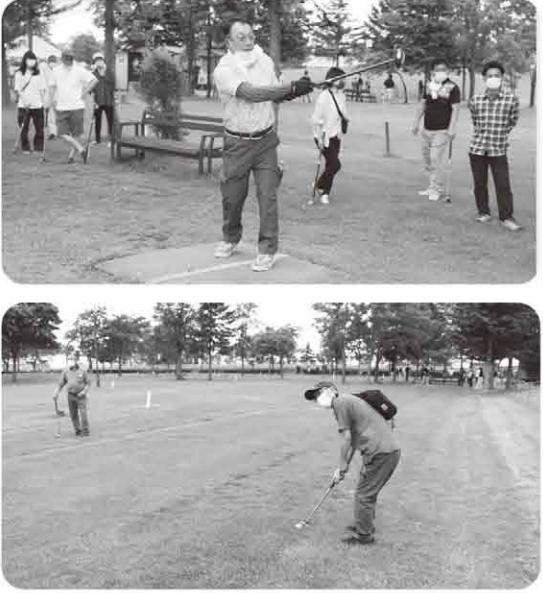


健康管理研修会開催

7月2日（土）、当JAでは健康管理研修会を開催しました。

当日は、南幌町中央公園パークゴルフ場で当JA役職員46名が参加し、4名1グループで18ホールを回り健康増進を目的に汗を流しました。

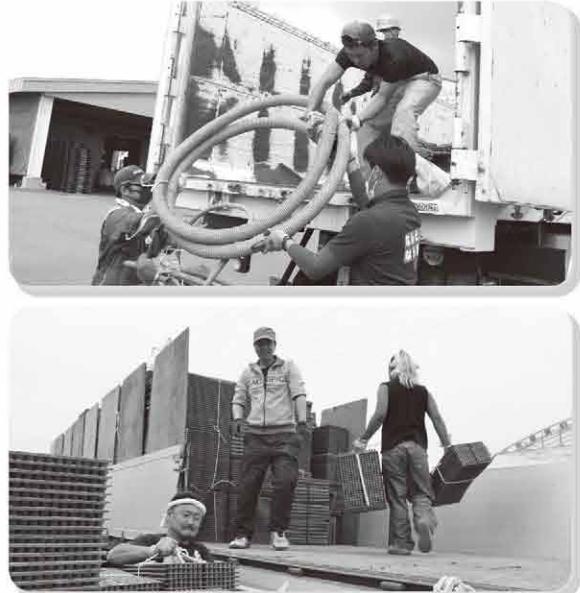
参加した役職員からは「外で汗を流し良い運動で楽しかった」との声が聞けました。健康管理研修会後には、役職員の親睦を深める事を目的とした懇親会も行いました。



廃農ポリ・ビニール回収に協力

6月27日（月）、28日（火）の2日間で実施された廃農ポリ・ビニール回収に盟友が参加、協力しました。両日とも好天の中、荷降ろしや積込み、車両の誘導など産業廃棄物の適正処理のため作業を行いました。

2日間でのべ245台のトラックが搬入に訪れ、回収された廃棄物は2日間合計で66tとなりました。



発行者
JAなんばろ青年部
編集責任者 石川 卓也

女性部部員視察研修開催

6月28日（火）、JAなんぽろ女性部は南幌温泉で部員視察研修を開催し、部員18名が参加しました。

今回の研修では、最初にJA空知女性協議会の取り組みの地域貢献活動として、ぞうきんを製作しました。部員が一つ一つ丁寧に手縫いをしたぞうきんは、町内養護学校等に寄贈する予定です。

その後、町内在住の小原氏を講師にお招きし、椅子を使ったストレッチ講座を行い、楽しみながら体を動かしました。

昼食は、南幌温泉のお弁当を、みなさんとおしゃべりを楽しみながらいただきました。

その後は、のんびりくつろいだり、温泉に入つて日頃の疲れを癒したり・・・自由な時間を過ごし、解散しました。

今回の研修は、新型コロナウイルスの影響で、例年通りバスに乗って研修に行くことはできませんでしたが、みなさん久しぶりの再会に会話が途切れる」となく、楽しい時間を過ごすことができました。



▲南幌温泉の豪華なお弁当をいただきました！！

長船技師による営農情報！



塩基(石灰・カリ・苦土)バランスとは

今月は、塩基バランスについて説明したいと思います。作物が生育していくために、土壤の交換性塩基(石灰・カリ・苦土)は量だけでなくバランスが重要です。

作物による石灰、カリ、苦土の吸収には拮抗作用があるため、土壤中の苦土とカリ、石灰と苦土は望ましい基準が設けてあります。

1 拮抗作用とは

- (1)石灰、カリ、苦土は土壤中および作物吸収における挙動が似通っていることから、これらの塩基成分の一つが過剰になると、他の塩基の吸収が抑制される関係があり、これを拮抗作用といいます。
- (2)たとえば、カリを含む堆肥を施用した場合、作物体のカリ含有率が著しく高まり、土壤中に交換石灰や苦土が十分あるにも関わらず、作物体の石灰・苦土の濃度が低下する現象が見られます。
- (3)拮抗作用による生理障害を防ぐには、土壤中の塩基バランスをとることが必要です。

2 苦土・カリ比

- (1)交換性苦土と交換性カリの当量比で、北海道施肥ガイド2020の基準値は2以上となっています。

3 石灰・苦土比

- (1)交換性石灰と交換性苦土の当量比の基準値は表1のようになっています。
- (2)タマネギ乾腐病の例では、塩基バランス(石灰・苦土比)の不良が原因の一因とされて、石灰・苦土比が3未満の場合には、pHの上昇程度を考慮しながら石灰質資材を施用する指針が示されています。

表1 土壤の苦土・カリ比、石灰・苦土費の基準(当量比)

区分	苦土・カリ比(Mg/K)	石灰・苦土比(Ca/Mg)
水田	2以上	
普通畑		6以下
野菜畑		4~8



土壤理化学性等に起因するタマネギ乾腐病の発生機作(中央農試・北見農試、2007)

参考資料:土づくりQ&A「総括編」、北海道施肥ガイド2020

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。

国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③20歳以上60歳未満の方



◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえ

ます。(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は いつでも変更 できます。

月々2万円から6万7千円まで

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の
節税になります。

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例:認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円(5割)補助

問い合わせ先 お住まいの市町村農業委員会・JAの農業者年金担当

独立行政法人農業者年金基金

専門相談員 TEL. 03-3502-3199

企画調整室 TEL. 03-3502-3942

理事会報告

7月15日

7月定例理事会で審議された主な内容について、
次のとおり報告申し上げます。

【監査講評】

1、第1四半期末自治監査

2、固定資産監査

【議案】

1、令和2年産米共同計算精算について

2、規程の改正について

3、出資金の減口について

【報告事項】

1、農産物の生育状況について

2、第4回 営農振興組合長会議の開催結果について

3、持続可能な北海道農業の確立に関する政策提案について

4、農業用廃農ボリ・廃農ビールの回収処理結果について

5、令和4年度米・麦・大豆出荷契約の報告について

6、令和4年産米出荷契約金の支出について

7、令和3年産米経営対策費の返還について

8、令和4年産特定低品位米取扱要領について

9、令和4年産小豆取扱要領について

10、6月末農産物の保管状況について

11、6月末蔬菜販売状況について

12、水稻・小麦乾燥調製委託契約（ほなみ・南幌大地利用組合）について

13、共済強化推進期間の実績報告について

14、内部監査の実施報告について

15、大口貸付先の令和3年度経営状況について

16、令和4年度JAグループ北海道の事業報告概要について

17、令和3年度空知管内農業協同組合長会賦課金の支出について

18、令和4年度JA北海道中央会賦課金の支出について

19、令和3年度南幌町農産物加工センターの決算内容について

20、反社会的勢力との取引排除に係る顧客属性定期確認の結果について

～表紙の紹介～

◎今月号は、林
芳樹さん（夕張太
西幌（ほなみ）に
表紙を飾っていました。
だきました。



南幌町 フォトコーナー

大きく育った玉ねぎ

収穫間近の秋小麦



編集後記

秋小麦の収穫も終盤になり今年ももう畠なのかと体感しました。昨年は、熱帯夜でなかなか寝付けない日々を過ごしました。
今年は過(じ)やす(い)気温(あつめい)を願った
ことです。

くみあいだより担当の吉田
は堆肥盤の管理を行って
ました。



私達のJA

令和4年6月末日現在

組合員 2,701名
(前年同期比 ▲22名)

正組合員 446名
(前年同期比 ▲4名)

准組合員 2,255名
(前年同期比 ▲18名)

正組合員戸数 280戸
(前年同期比 ▲1戸)